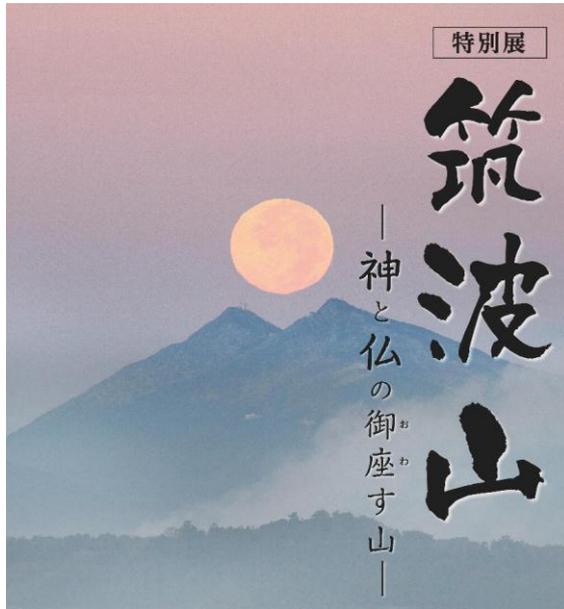


「筑波山—神と仏の御座す山—」

平成25年2月9日（土）～3月20日（水）

筑波山は、古くから信仰の山として広く知られてきました。古来より男体山頂には筑波男大神が、女体山頂には筑波女大神がそれぞれ祀られてきましたが、仏教の導入とともに神仏習合が図られ、筑波両大権現となりました。そして、従来からの山岳信仰と併せて山全体が修験霊場となり、数多くの社や堂宇が建てられました。今回の展示では、神様も仏様も両方御座した霊峰「筑波山」が、古代から近代にかけて、人々にどのように信仰されてきたのか紹介します。この特別展をきっかけとして、歴史ある「筑波山」の魅力を感じていただければ大きな喜びです。



主な展示内容について各章ごとに紹介します。

第1章 古代から中世の筑波山

筑波山は、西の男体山と東の女体山の二峰が並び立つ山です。古来より男体山頂には筑波男大神が、女体山頂には筑波女大神がそれぞれ祀られるなど、「神の御座す山」として知られてきました。その後、仏教の導入により「仏の御座す山」としても有名になりました。さらに神仏習合が図られ筑波両大権現となり、従来からの山岳信仰と併せて修験霊場としても発展してきました。ここでは、古墳時代後期に始まる筑波山信仰が、徳川の世になる前まではどのような様相を示していたのか、古代から中世まで7つの節を設けて探っていきます。



八幡塚古墳出土人物埴輪
つくば市教育委員会



『常陸国風土記』

茨城県立歴史館



慧日寺跡徳一廟出土礫石経
磐梯町磐梯山慧日寺資料館



最仙上人坐像
薬王院（桜川市椎尾）



釈迦涅槃図 茨城県指定文化財
法雲寺蔵（土浦市立博物館寄託）



鍍金装笈 国認定重要美術品
龍蔵寺蔵（白河市金屋町虚空蔵堂保管）

第2章 近世の筑波山

筑波山も江戸時代には多くの社や堂宇が建てられていました。その中心的存在が、徳川将軍家の祈願所となった知足院中禅寺です。特に、三代将軍家光による大伽藍の造営以降、筑波山は将軍家の威光とともに隆盛を極めるに至りました。一方、筑波山は坂東三十三観音二十五番札所としてや、筑波講・御六神講・大同講の拠として庶民の信仰も集めていました。ここでは、徳川将軍家から庶民に至るまで、近世の人々の筑波山への信仰がどのような様相を示していたのか、4つの節を設けて探っていきます。



吽形像
旧中禅寺仁王門金剛力士像



阿形像
東福寺（つくば市松塚）



常陸国筑波山上画図

国立公文書館



常陸国筑波山下画図

国立公文書館



万延大判

筑波山神社



十一面観音菩薩立像 前橋市指定文化財

無量寿寺（前橋市）

第3章 近代の筑波山

明治維新によって、日本は近代への道を歩むことになりましたが、影響は宗教面・信仰面にも及びました。その最たるものが、廃仏毀釈です。筑波山も例外ではなく、仏教関係の建物や仏像・仏具類は破却、あるいは移転され、筑波山知足院中禅寺は廃寺となりました。そして、改めて筑波山神社となり、拝殿が大御堂跡に造営されました。ここでは、筑波山神社の復興から筑波山大御堂の再建に至るまで、近代になっても変わらない霊峰筑波山に対する人々の信仰心の在り方について、3つの節を設けて探っていきます。



『勇範日記』

個人



修行大師像

筑波山大御堂

◇関連イベント情報

1 講演会 (要入館券)

- (1) 日 時 平成25年2月24日(日) 午後1時30分～3時30分
- (2) 会 場 茨城県立歴史館講堂
- (3) 講 師 西海 賢二 氏 (東京家政学院大学教授)
- (4) 演 題 「筑波山と民間信仰」

2 展示解説 (要入館券)

- (1) 日 時 ①平成25年2月10日(日) : 「筑波山ー古代編ー」
②平成25年2月17日(日) : 「筑波山ー中世編ー」
③平成25年3月2日(土) : 「筑波山ー近世徳川将軍家編ー」
④平成25年3月9日(土) : 「筑波山ー近世庶民編ー」
⑤平成25年3月16日(土) : 「筑波山ー近代編ー」
※ 各日 午前11時, 午後2時 各回約30分
- (2) 会 場 茨城県立歴史館展示室
- (3) 担 当 当館首席研究員 大関 武

3 筑波山年中行事DVD上映 (要入館券)

- (1) 内 容 「筑波山御座替祭」・「筑波山禅定・筑波講」
- (2) 日 時 期間中全日
- (3) 会 場 茨城県立歴史館エントランスホール

4 筑波山写真展 (要入館券)

- (1) 日 時 期間中全日
- (2) 会 場 茨城県立歴史館エントランスホール及び2階ギャラリー
- (3) 協 力 日本写真協会会員 滝原 逸郎 氏

5 筑波山がまの油売り口上 (要入館券)

- (1) 日 時 平成25年3月16日(土) 午前10時30分～11時, 午後1時30分～2時
- (2) 場 所 茨城県立歴史館講堂
- (3) 出 演 19代永井兵助 吉岡 久子 氏